

SDGs宣言書

当社はSDGsの達成を通じて、地域の暮らしをより魅力的にし、
次世代に継承しようとする取組みに貢献してまいります。

特定非営利活動法人 まなびと

理事 中山 迅一

西暦2025年8月

当社の重点目標

地域の子どもたちの居場所作り(子ども支援)

神戸市中央区では放課後に安心して過ごせる場所が不足し、外国ルーツの子どもも年々増加しています。当法人は放課後等デイサービス・学習保育・学習支援を柱に、地域ボランティアや大学生と連携し、宿題サポート、遊びの見守り、温かな食事提供を組み合わせた放課後の安心拠点を年間を通じて開放。経済的背負に左右されず、多様な文化経験を交えながら、地域全体で子どもが自分らしく学び挑戦できる環境を育んでいます。



地域の在留外国人の居場所づくり(外国人支援事業)

神戸市中央区は住民の約10人に1人が外国人であり、言語・文化の壁を越えた支援体制が不可欠です。当法人は、日本語教室と生活相談窓口を中心に日常的に、留学生シェアハウス経営、医療・行政手続き同行、多言語情報発信、フードパントリーを組み合わせ、在留外国人が安心して暮らし働き学べるよう包括的サポートを実施。地域企業や行政と連携し、交流イベントを通じて相互理解の場も広がっています。



地域の方々と連携した居場所づくり(地域支援)

当法人は、子ども支援や外国人支援で繋がった子ども・大人・若者・外国人が気軽に集い語り合えるコミュニティスペースを常時開放し、地域住民と共に運営。まかない食の提供や季節行事、対談型ワークショップ等を通じて世代や文化の壁を越え、参加者が経験やアイデアを持ち寄り、新たな挑戦や協働が生まれる交流の場を育てています。



尼崎信用金庫は上記企業のSDGsへの取組みを評価するとともに、その活動を支援していきます。
(評価にあたっては経営産業者の支援モデルをベースに、東京海上日動火災保険株式会社の協力を得ています。)